楽しく安全なネットライフを！SNS の危険性を知ろう　　社会

研究動機

最近スマートフォンを持ち始めたりインターネットに関わり始めたりする年齢が全体的に低くなっている今、自分や身近に被害がなければ理解がしづらい危険を知ってもらいたいと考えたからである。

研究内容

Ⅰ.調査

SNS とは Social Networking Service の略称であり、インターネットを通じて場所にとらわれず利用者同士のコミュニケーションを実現している。

スマートフォン普及後、どんどん生活に浸透するスマートフォンとともにサービスの開発が進み、スマートフォンを日常的に携帯するライフスタイルが一般的になったことで SNS を利用できる時間は多くの人にとって拡大した。

総務省が発表した平成２９年度情報通信白書では全年代の代表的な SNS の利用率は右下の表のようになっている。

このように SNS の利用者が日々増加している一方でトラブルに巻き込まれる人も増えてきている。

平成２９年度情報通信白書	
２０１２年	４１．４％
２０１３年	５３．０％
２０１４年	６２．３％
２０１５年	６６．５％
２０１６年	７１．２％

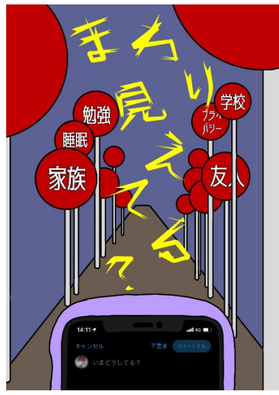
写真や個人情報を不用意に公開してしまうことで、最悪の場合、犯罪に巻き込まれる恐れがある。一見個人情報には結びつかないものでも断片的情報から、学校や職場、氏名や交友関係が特定される可能性がある。

Ⅱ.地域とつながる

地域とつながるために『SNS 啓発マナーポスター』を作成し、『町家おいでなーれ』に展示することにした。

＜作成したポスター＞コンセプトは歩きスマホで、標識の中に家族や友人、勉強、目を入れた。それがスマホ（SNS）に夢中になっていて見えていない、疎かになっている、という意味を込めた。

このポスターを『町家おいでなーれ』に展示したところ、アンケートで標識が抽象的すぎて伝わらない。色が暗く、標識が目立たない。という意見を頂いた。そこで左のように背景を明るくし、標識を目立たせたり、標識の中を抽象的な記号から伝わりやすいように文字にした。



まとめ

今まで自分はインターネットに深くかかわっていると思っていたが、調べ学習を進めていく中で自分の知らない危険を知ることができた。

これからもっと SNS に深く関わる日常へ変わっていくと思うが、娯楽としてや便利に利用できる反面、すぐ近くに危険が潜んでいることを理解したうえで関わっていきたい。

＜出典・協力団体＞

https://ferret-plus.com/11967　┆　町家おいでなーれ

１６番　小松　芽以